

2012年(平成24年)10月23日(火曜日)

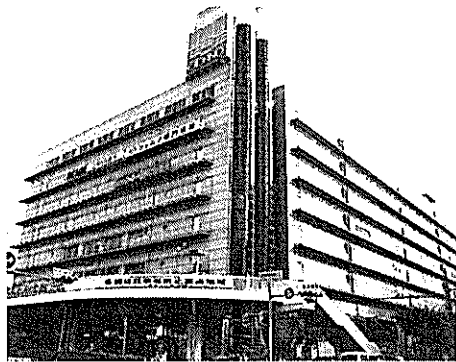
南海堺東駅前「ジョルノビル」

建て替え推進決議

地権者委

南海電気鉄道高野線堺東駅前再開発ビル「ジョルノビル」(堺市堺区三国ヶ丘御幸通152)の地権者でつくる建て替え推進委員会が建て替え事業を進める方針を18日に決議していたことが明らかになった。地権者らは決議したことを、建て替え事業手法について国土交通省と話し合っている堺市に近く報告する見通し。市は国に、法定再開発事業で建設したビルの建て替えに再度、同事業を適用できるかどうかについて協議中。委員会ではマンションと低層部の商業施設を複合化する計画案を検討している。

ジョルノビルは、堺東された。完成から30年が経過して設備などが老朽化している。現在、床面積の約90%が空きスペース。敷地面積は約4100平方メートルで、規模はRC造



現在のジョルノビル

地下4階地上8階建て延べ約3万8000平方メートル。1981年5月にオープンした。

テナント床は、ビルを施工した竹中工務店の関連会社「TAKリアルティ」が所有している。

市内に点在する百舌鳥

古蹟群の世界遺産登録を目指している堺市では、新しい施設の高さを80メートル程度に抑えたい考え。高さが80メートルになると新施設の階数は25階建て程度となり、マンション戸数は200戸、施設全体の延べ床面積は3万平方メートル以下になるといふ。

事業手法が決まれば、都市計画などの手続きに順次着手することになる。また、堺市では来年年度予算案に調査費や駅と

ビルを結ぶペDESTリアンデッキの配置計画検討業務経費などを盛り込む見通し。

コンサルタントはアー・ル・アイ・エーが担当。マンションデベロッパーとして野村不動産が参加している。